

令和3年度 桑名市民満足度 調査結果を報告します



本物力こそ桑名力



1. 調査目的

○市民の市政に対する満足度やニーズを把握し、施策の企画立案及び実施に当たっての基礎資料とするため、総合計画の施策体系に沿った市民満足度調査を実施。

○平成27年度より運用している10年間の総合計画について、後期5年間の基本計画が令和2年度からスタートしており、各施策の方向性や進捗を確認するために実施。



2. 調査概要

調査期間 : 令和3年9月30日～10月18日

調査方法 : 郵送による配布・回収(WEB回答可)

調査対象 : 市内在住の15歳以上の市民3,500人(無作為抽出)

有効回答数 : 1,422件(内WEB回答数:297件)

有効回収率 : 40.1%

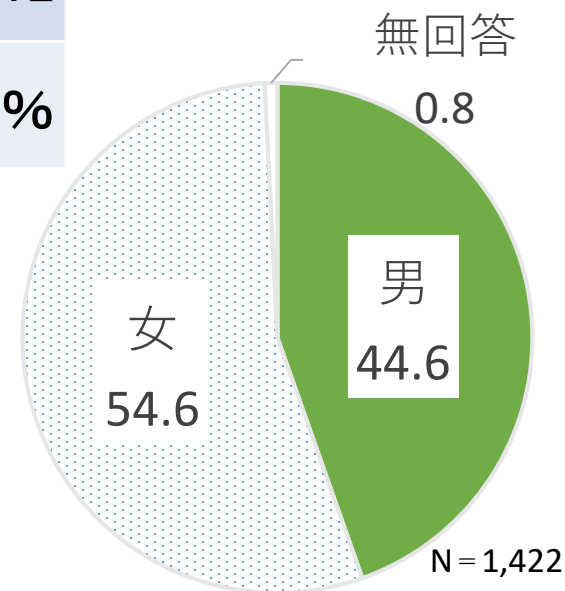
(参考)

○前回調査は平成30年6月～7月に実施(有効回答数:1,333件、有効回収率:38.1%)



3-1. 回答者の属性(性別)

回答数／性別	男性	女性	無回答
N=1,422	634	774	12
	44.6%	54.6%	0.8%



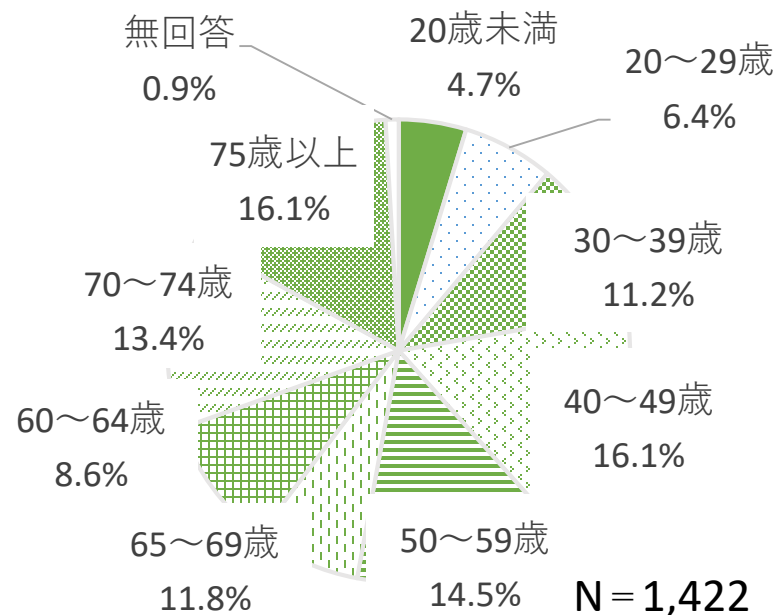
※回答者の性別は、「男性」が44.6%、「女性」が54.6%となっています。



3-2. 回答者の属性(年齢)

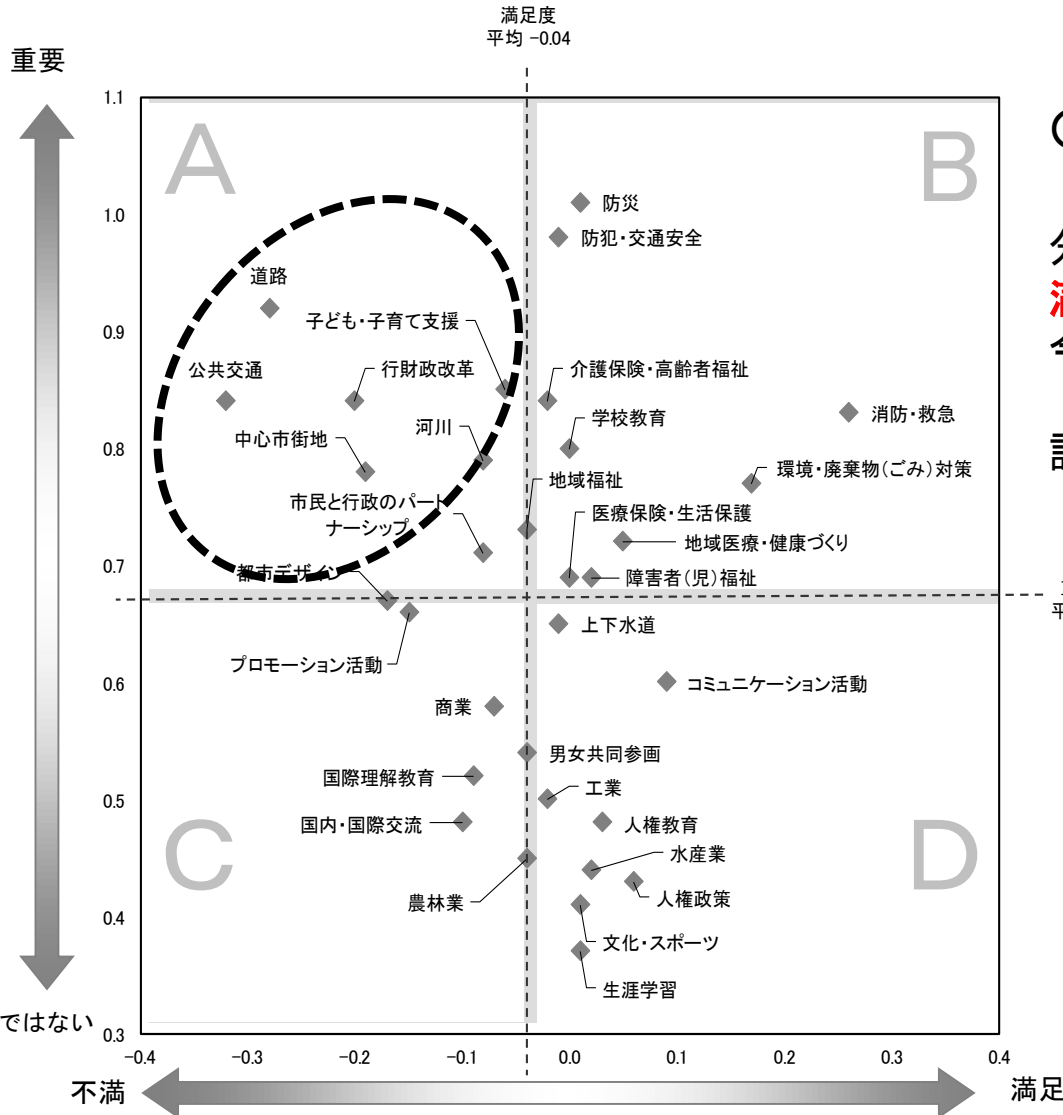
回答数/年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答
N=1,422	67	91	159	229	206	106	131	191	229	13
	4.7%	6.4%	11.2%	16.1%	14.5%	7.5%	9.2%	13.4%	16.1%	0.9%

年齢は、「40～49歳」「75歳以上」の回答数が16.1%と高く、次いで「70～74歳」(13.4%)、「50歳～59歳」(14.5%)、「30～39歳」(11.2%)、「65～69歳」(9.2%)の順で高くなっています。
 ※前回調査と比較すると、「70～74歳」の回答者が9.3%から13.4%となり、高い割合となっています。





4. 満足度・重要度の平均値分布図



○調査結果の特徴

分布図の**左上(A)部分**が、**重要度が**高く、**満足度が低い**領域となります。
 今回の調査結果では、「公共交通」「道路」「行政改革」「中心市街地」施策等が該当しています。

5. 調査結果

ポイント

👉 ポイント ①

◎総合計画において掲げる基本計画のほぼすべてにおいて、**満足度が上昇**
重要度も上昇傾向

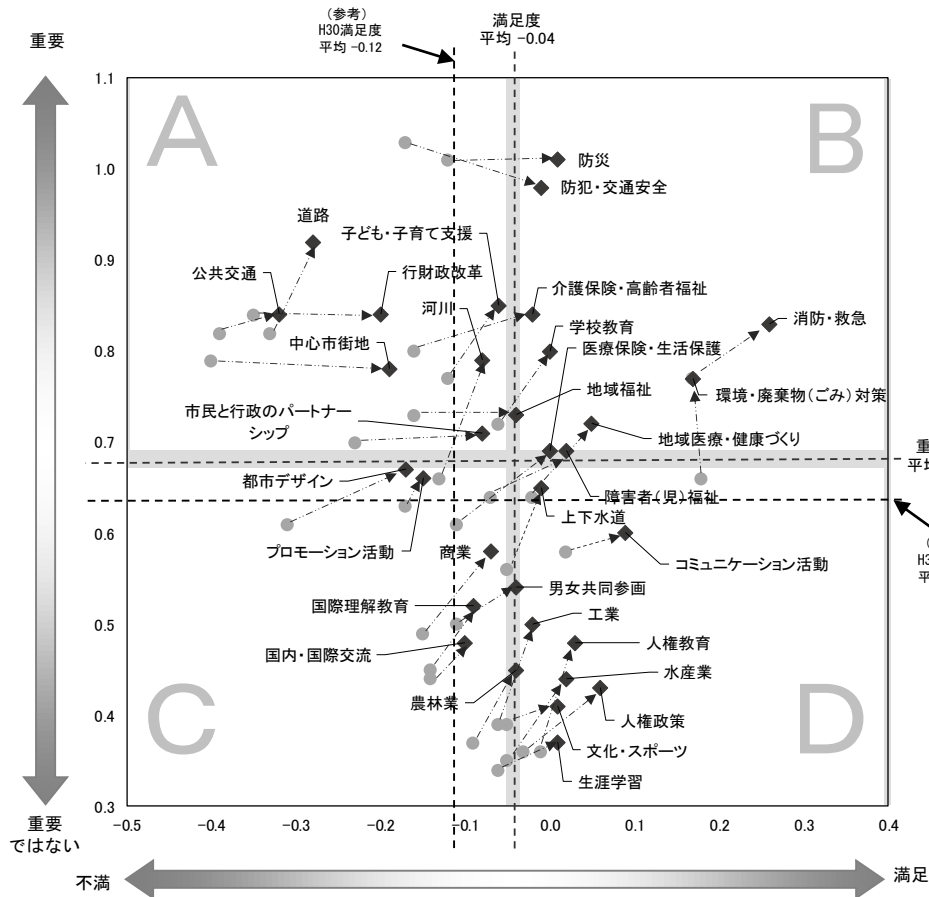
👉 ポイント ②

◎個別の施策については、「**中心市街地**」「**市民と行政のパートナーシップ**」
で**満足度の増加率が高い**

👉 ポイント ③

◎後期基本計画に位置付けた、3つのミッション「**公共交通**」・「**道路**」・「**防犯・交通安全**」
について、**満足度は上昇**。引き続き**重点的**に取り組みを進めていく。

6-1. 調査結果(全体)



○満足度・重要度平均値分布図 経年比較

全体的に施策の**満足度**及び**重要度**が、前回調査時に比べて**向上**した。その結果、満足度及び重要度の**平均値**がともに**上昇**した。

6-2. 調査結果(全体)

満足度

総合計画における各施策を推進することに対して、一定の評価をいただいた。



満足度の上昇につながった。

重要度

コロナ禍で、行政サービスに触れる機会が増え、行政を身近に感じるきっかけとなった。



重要度の上昇につながった。

日々変わりゆく多種多様な課題に対して、迅速に対応してきた行政運営に一定の評価をいただいた。

◎総合計画において目指す**市の将来像の実現に向けて、着実に前進**しており、市民の皆様の**思いと一致**した。

市

後期基本計画の推進

目指す方向性の
一致

市民

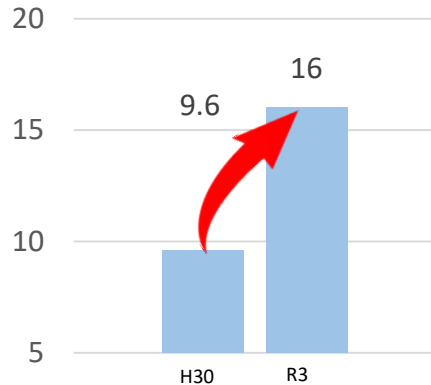
市政に対する市民のニーズ

全庁的にこの結果を共有し、各施策のさらなる実施を促し、引き続き、総合計画を推進していく

7-1. 調査結果の分析(中心市街地)

○満足度の上昇

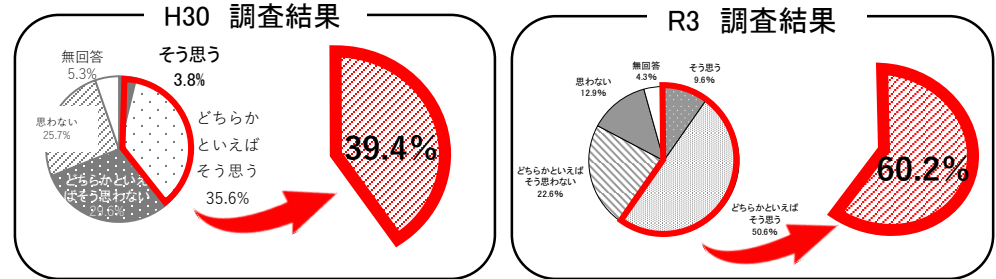
6.4ポイント増



注) 数値は「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合

○桑名駅とその周辺が玄関口としてふさわしく整備されている回答増

20.8ポイント増



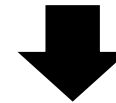
注)「あなたは、桑名駅とその周辺が市の玄関口としてふさわしく整備されていると思いますか。」という問いに対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合を『ふさわしく整備されている』割合としています。

○市民の声(自由意見より)

- ・桑名駅が綺麗になったのは大変良かったと思います。(40代 女性)
- ・毎日通勤で駅を利用するので駅が綺麗で快適で気持ち良い。帰りの心の充実はありがたい。(40代 女性)
- ・桑名駅周辺複合施設等、整備事業に期待しています。(70代 女性)

◎考察

長年の課題である駅周辺の整備がようやく目に見える形となって進みだし、市民の皆様からの高い評価につながった。

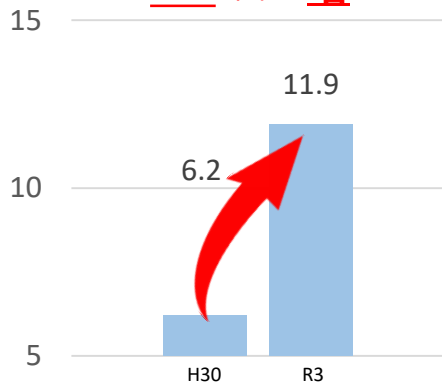


今後も引き続き駅周辺の整備を進める。

7-2. 調査結果の分析(市民と行政のパートナーシップ)

○満足度の上昇

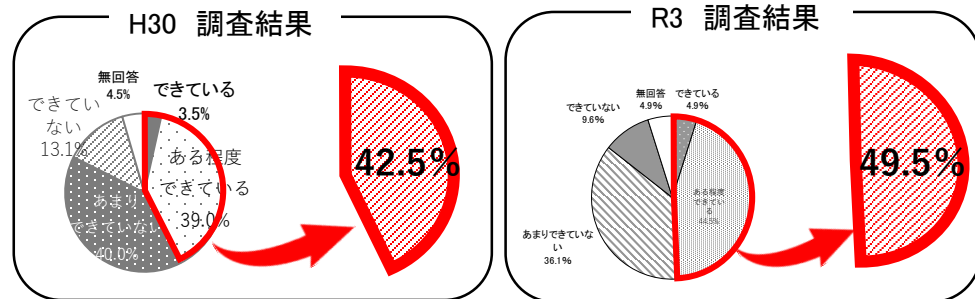
5.7 ポイント増



注)数値は「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合

○力を合わせた地域づくり(協働)ができているという回答増

7.0 ポイント増



注)「桑名市は、市民、企業、行政などが共に考え、共に力を合わせた地域づくり(協働)ができていると思いますか。」という問いに対して、「できている」「ある程度できている」と回答した人の割合を『力を合わせた地域づくり(協働)ができている』割合としています。

○市民の声(自由意見)

- ・まちづくり協議会などの活動が始まっていますが、各地区に子どもも大人も気軽に集まれる場所があれば良いと思う。(60代 女性)
- ・人口減少、担い手不足の中で地域の在り方も変わってきており、協議会の設立によって、良い方向に向かってほしいと思う。(30代 男性)

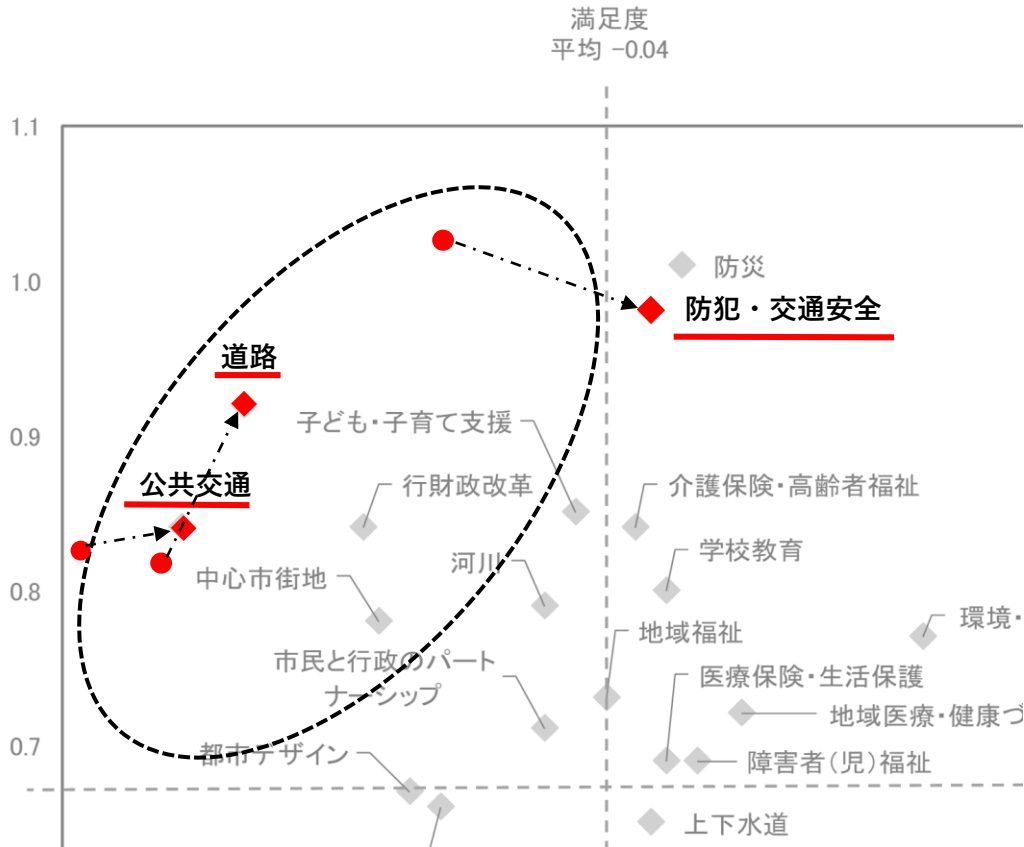
◎考察

まちづくり協議会設立に向け対話を基本とし、ニーズに合ったよりよい地域づくりを展開することができている。



今後も引き続き市民の皆様との対話を基本とした、地域づくりを進める。

7-3. 調査結果の分析(3つのミッション)



◎考察

3つのミッションの「防犯・交通安全」については、満足度が上昇し、左上の領域からは外れたが、「道路」「公共交通」はいずれも重要度が高く、重点的に施策を実施していく必要がある。

R3 調査結果一部抜粋

KUWANA OPENFIELD

持続可能な社会活動を行う新たな**共創**フィールド

市長公室 政策創造課

社会を取り巻く新たな課題

コラボ・ラボ桑名



少子高齢化



社会保障経費増



施設老朽化



災害



多様性



働き方



健康



グリーン社会

急速に変化する社会



コロナ禍

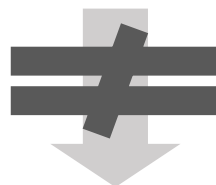


デジタル化

様々な価値観が混在



人々の考え(価値)



新たな課題が出現



社会のしくみの変化
技術(科学)の進歩



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 持続可能な社会を実現していくために

答えのない社会をどう生き抜くか

桑名オープンフィールド構想 ~答えのない社会を生き抜くために~



既存の枠組みにとらわれない分野の様々な人々との連携による

“共創”



コラボ・ラボ桑名

KUWANA OPENFIELD

桑名オープンフィールド(構想)

持続可能な社会を実現するための、新たな連携を創出する仕組み(フィールド)

桑名オープンフィールド構想

KUWANA OPENFIELD 構想

総合計画

● スマート自治体への転換
DXの推進

● 自動運転やドローンなどの
先端技術の活用

● グリーンIoTラボ・桑名
自然環境への取組み

● 公民連携

コラボ・ラボ桑名



桑名オープンフィールド(構想)

オープンフィールド構想の理念

- ・既存の枠組みにとらわれない分野の様々な人々との連携による“共創”
- ・地域資源の活用や企業との連携による地域活性化
- ・ヒト、モノ、カネの域内での好循環

答えのない社会を生き抜き、持続可能な社会の実現を目指す

桑名オープンフィールド構想を活用した令和4年度の取組み



第1弾

三重大学・桑名市・桑名市総合医療センターによる
新しい未来の共創に向けたプロジェクトがスタートします！

桑名市では、「桑名オープンフィールド構想」の理念のもと、あらゆる分野の人々や機関との対話や協働による共創を通して、今ある課題や社会で生まれるこれからの課題を解決し、持続可能な未来を実現していくことを目指しています。その第一弾の取組みとして、「国立大学法人三重大学・桑名市・地方独立行政法人桑名市総合医療センターによる新しい未来の共創に関する協定式」を下記の日時に開催します。

三重大学



桑名市



桑名市
総合医療
センター

相互連携・協力し、地域経済の活性化や地域医療の充実、市民が安心して暮らせるまちづくりを実現する。

KUWANA  OPENFIELD

持続可能な社会を実現するための、新たな連携を創出する仕組み(フィールド)

協定締結式の実施について

●日時 令和4年3月30日(水)10:00～

●場所 桑名市役所 3階第2会議室

がんばり “見える化” 予算 市長表彰式を開催します



本物力こそ桑名力

日時：令和4年3月30日 午後2時～

場所：桑名市役所3階第2会議室

◎ 「がんばり “見える化” 予算」とは

桑名市では、「がんばり “見える化” 予算」という制度を創設し、職員一人ひとりが“変わる” “変える” 意識を持って改革に取り組み、その改革の成果を各所属の予算にしっかり評価する仕組みをつくっています。

今回、13部署より申請があり、様々な改革による歳入増収・歳出削減の成果総額は、3,055万1千円でした。そして、各取組を評価した結果、総額1,141万2千円を改革に取り組んだ各部署に付与しました。この付与された予算は、市民サービス向上や職員の働き方改革・業務効率化に資する経費の予算として反映します。

これら取組のうち、優れた取組で他部署の模範となる取組と評価された5つの部署（観光課、環境対策課、消防救急課、保健医療課、介護高齢課）の取組に対して、市長より表彰します。